



立川市民オペラ公演 2015 歌劇「愛の妙薬」

2015年3月14日(土)、15日(日) たましん RISURU ホール(立川市市民会館)大ホール

猛暑の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。先月はソリストオーディションにご協力いただき誠にありがとうございました。無事キャストが決定いたしましたので、今号にてお知らせいたします。また、昨年度公演《アイダ》が佐川吉男音楽賞を受賞しました！詳細は裏面をご覧ください。

歌劇「愛の妙薬」キャスト決定！！

7/7(月)に行われたソリストオーディション、審査員推薦によって決定したキャストをご紹介します。

役柄	氏名(声域)
アディーナ	木下 周子(ソプラノ)
アディーナ	ステパニユック・オクサーナ(ソプラノ)
ネモリーノ	藤牧 正充(テノール)
ネモリーノ	大澤 一彰(テノール)
ベルコーレ	大川 博(バリトン)
ベルコーレ	柴山 昌宣(バリトン)
ドゥルカマー	東原 貞彦(バス)
ドゥルカマー	押川 浩士(バス)
ジャンネッタ	鈴木 玲奈(ソプラノ)
ジャンネッタ	山口 和子(ソプラノ)

立川管弦楽団より

立川管弦楽団は次の演奏会を12月7日(日)に予定しています。曲目はベートーベンの「第九」です。ご期待ください。

立川オペラ愛好会より

10月18・19日に開催される国立音楽大学大学院オペラ公演モーツァルト作曲「フィガロの結婚」に先立ち、レクチャー会を9月17日(水)午後7時からアイムホールで開催します。当公演演出担当の中村敬一先生と大学院生の歌手が出演します。中村先生の演出家ならではの興味深いお話と、学生さんの若さ溢れるオペラアリア、先生と学生さんのトーク等々楽しいレクチャー会です。定員180人で会費は無料です。どうぞ御来場ください。

オペラ合唱団より

「愛の妙薬」のキャストが決まり、公演に向けて着実に時が進んでいます。ソリストさん達との練習を待ち遠しく思っています。合唱は音楽稽古が始まってから4ヶ月弱で、最後まで譜読みができました。合唱が多く、譜読みに時間がかかりました。繰り返しなどはカットするかもしれないそうですが、まだ確定していないので、今はそういう部分も練習しています。このオペラは、今も言葉に苦労しています。私は立川市民オペラに10年以上在籍していますが、今までで一番復習しています。それでも、まだしどろもどろになります。さて、8月は演技だけの稽古が2回あり、とても楽しみです。

連載「知っている面白くなる」

ドニゼッティは貧しい家に生まれるも、その才能を認められ無償で音楽教育を受けます。21歳でデビュー、若くして引退したロッシーニの後継者として複数の劇場から作品の依頼を受けます。しかしながら失敗続きで、そうこうしている内に年下のベッリーニ(音楽一家の出身・大作曲家からも賞賛を得ていた・いかにもライバル!)が出現。ドニゼッティはベッリーニの成功を目の当たりにする一方、自作の失敗が続きます。そんな焦っていたドニゼッティですが、突如依頼が舞い込んだ「愛の妙薬」の早書きによって成功を手にしたのでした。 H・S